

生きていらっしゃる神

マリノ E. デハクト Jr.

私たちは死に関して何も出来ません。現代の科学も寿命を薬と技術によって延長することはできますが、どんなに高名な医者でも、愛する人の肉体的な死を退けることは出来ません。人間は死ぬべき者だからです。人の死後、どうなるか実は誰も知らないのです。どんな時代にもこのことは大きな関心事だと思います。でもキリスト者である私たちにとってこの人の死後についての疑問や恐れなどはイエス様によって解決されました。イエス様は復活によって死を滅ぼしたからです。ですから私たちは死が終わりではなく、永遠の命の始まりだと信じています。もちろんそれは信仰がない人たちには理解できないことでしょう。

ルカの福音書第20章27節では復活があることを否定するサドカイ派の人たちはイエス様を試そうとして復活のことを訪ねました。彼らによると復活のことが旧約聖書に何も書かれていないので信じなかったのです。そのためイエス様はモーセの言葉を使って、「主をアブラハムの神、イサクの神、ヤコブの神と呼んで、示している。神は死んだ者ではなく、生きている者の神なのだ。全ての人、神によって生きているからです。」とお答えになりました。イエス様は祖先たちが肉体的には死んだのに、霊的には神様と共に生きているとおっしゃりたかったでしょう。そして聖なる祖先の魂も、最後の日、つまりすべての正しい者が復活する日を待っておられるのです。サドカイ派の人たちはイエス様の言葉を聞いて何もあえて尋ねようとはしませんでした。この人たちは人間が死んだ後、その存在もなくなると思っていたからでしょう。でも実は私たちは肉体的に死んでも魂は生き続けます。ですからイエス様は神様は死んだ者の神様ではないとはっきりおっしゃったのです。私たちは少なくとも毎日曜日、信仰宣言をします。私たちは復活と永遠の命を堅く信じています。今日の福音は改めてこの世の命よりもっと大切なことがあることを私たちに思い起こさせているのです。これは、私たちはこの世から消え去るということの意味します。イエス様を信じていない人たちにとって死ぬことは非常に怖いことですが、キリスト者である私たちにはイエス様が復活によって死を滅ぼしてくださったので、そのような怖がる必要はありません。死によってのみ私たちは永遠の命に入れるのです。さらに私たちの最終的な目的は万物の主と共にいることです。イエス様は私たちより先にその栄光にお入りになりましたが、彼の教えを守ることができれば私たちもその栄光に入ることができます。イエス様の教えは教会によって私たちに伝えられています。イエス様が私たちのために永遠

の住まう場所を準備してくださったの です。永遠の命への道は簡単ではありませんが、イエス様に教えに忠実に従うことが ただ一つの条件です。それができれば、私たちはその栄光にも預かることができるの です。